

## 新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設配置の提案

新武蔵野クリーンセンター(仮称)の施設・まちづくりの基本的な考え方として、前回『“エコ”でつなぐ周辺まちづくり』が提案された。

この考え方に基づく施設整備(配置)の一つのアイデアとして現行施設の再利用を提案する。

### 使える施設は“とっかエコ”

現在のクリーンセンターの施設については、今まで立派なタイル貼りの外装がもったいないという意見や建物を残して設備だけ更新をといった意見が多く寄せられた。前検討委員会では、設備の老朽化の検証が行われ、建替えという結論に至った。建替えにあたり、焼却設備部分については、ダイオキシン対策を徹底した撤去作業や廃材の再利用などが、行われる予定である。

しかし、建築の寿命としては、まだ数十年利用可能であり、会議室など管理施設部分については、減築やリニューアルにより建築として再利用するべきである。専門家による検討を提案する。

施設更新は、同一敷地(計画に位置付けられた市役所北側エリア)内のコミュニティ施設や運動施設も含めて、利用を続けながら行うことが望ましい。現建築の再利用により、休止期間の短縮が可能であると考えられる。

#### “とっかエコ”のイメージ

分築：緑町コミセン

設備改修：クラブハウス

分築：エコプラザ  
リペア工房等

プラットフォーム：  
コンクリート敷を残して屋根  
付き広場に利用

ばら園：  
新施設の屋上庭園に移植

